



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月2日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社オカムラ  
コード番号 7994 URL <https://www.okamura.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中村 雅行  
問合せ先責任者(役職名) 取締役 執行役員 コーポレート担当 (氏名) 福田 栄 (TEL) 045-319-3445  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	139,612	7.5	10,092	86.5	11,293	70.7	10,181	74.2
2023年3月期第2四半期	129,922	9.2	5,411	△17.4	6,615	△10.0	5,842	15.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 13,958百万円(133.9%) 2023年3月期第2四半期 5,967百万円(2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	107.57	—
2023年3月期第2四半期	59.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	259,509	163,520	62.2
2023年3月期	252,914	152,702	59.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 161,375百万円 2023年3月期 150,756百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	22.00	—	33.00	55.00
2024年3月期	—	43.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	43.00	86.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想については、本日(2023年11月2日)公表いたしました「業績予想の修正並びに剰余金の配当及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,600	4.9	23,600	35.8	25,500	34.7	20,100	26.4	212.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	100,621,021株	2023年3月期	100,621,021株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	5,974,767株	2023年3月期	5,972,073株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	94,647,751株	2023年3月期2Q	97,735,890株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「豊かな発想と確かな品質で、人が活きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」をミッションとし、「人が活きる社会の実現」を目指しております。

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されたこと、外国人観光客の増加によるインバウンド需要の回復などにより、経済活動が正常化に向かう一方、ウクライナ・中東情勢を巡る地政学的リスク、中国経済の先行き懸念、諸資材・部品の価格高騰、世界的な金融引き締めにともなう急激な金利・為替変動などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、顧客のニーズを的確に捉えたクオリティの高い製品とサービスを社会に提供することで、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高139,612百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益10,092百万円（前年同四半期比86.5%増）、経常利益11,293百万円（前年同四半期比70.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,181百万円（前年同四半期比74.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益又は損失(△)(百万円)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
オフィス環境事業	69,895	74,055	4,159	4,771	6,950	2,179
商環境事業	51,111	52,540	1,428	1,459	2,175	716
物流システム事業	6,266	9,788	3,521	△746	928	1,674
その他	2,648	3,229	580	△71	38	109
合計	129,922	139,612	9,689	5,411	10,092	4,680

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、新しい働き方に対応したオフィスの構築が、業種・規模を問わず多くの企業にとって重要な経営課題となっており、全国でオフィスのリニューアル需要が活発に推移しました。このような状況のもと、当社は、ハイブリッドワークとデジタル時代に対応した新しいワークスタイルの提案営業と、それを支える働き方の変化を捉えた新製品を拡充し需要の取り込みに努めました。一方で、諸資材・部品の価格高騰の影響を受ける中、生産・物流コスト削減に努めるとともに、価格転嫁の浸透に努めてまいりました。これにより売上高、利益ともに過去最高となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、74,055百万円（前年同四半期比6.0%増）、セグメント利益は、6,950百万円（前年同四半期比45.7%増）となりました。

## 商環境事業

商環境事業につきましては、食品を取り扱う業態間の競争や、インバウンド需要回復への期待を背景に、店舗改装の需要が堅調に推移致しました。このような状況のもと、店舗什器、冷凍冷蔵ショーケースをはじめとした幅広い製品ラインナップに加え、店舗デザインや施工管理等を含む店舗づくりのトータルサポート体制を拡充し、当社の総合力を活かした提案による需要の取り込みに努めました。一方で、諸資材・部品の価格高騰の影響を受ける中、生産・物流コスト削減に努めるとともに、価格転嫁の浸透に努めてまいりました。これにより売上高は過去最高となり、営業利益は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、52,540百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は、2,175百万円（前年同四半期比49.1%増）となりました。

## 物流システム事業

物流システム事業につきましては、省人・省力化ニーズを背景に、物流施設を中心に自動倉庫の需要は高水準で推移しております。一方で、世界的なサプライチェーンの混乱による諸資材・部品の調達難及び価格高騰が継続しております。このような状況のもと、優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な提案活動を展開し、受注高は堅調に増加しており、当第2四半期連結累計期間において複数の大型物件の売上を計上いたしました。また、生産・物流コストの削減や価格転嫁を進める等、収益の改善に努めてまいりました。これにより売上高、利益ともに過去最高となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、9,788百万円（前年同四半期比56.2%増）、セグメント利益は、928百万円（前年同四半期は746百万円のセグメント損失）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末から6,595百万円増加して259,509百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加、売上債権及び契約資産の減少を主な要因として3,509百万円減少し、固定資産は、土地、その他固定資産及び投資有価証券の増加を主な要因として10,104百万円増加いたしました。

負債は、仕入債務の減少を主な要因として、前連結会計年度末から4,222百万円減少して95,988百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加を主な要因として、前連結会計年度末から10,817百万円増加して163,520百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.6ポイント増加して62.2%となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益14,949百万円、減価償却費3,100百万円及び売上債権及び契約資産の減少額9,481百万円等による増加と、仕入債務の減少額5,045百万円、法人税等の支払額4,521百万円及び投資有価証券売却益3,674百万円等による減少の結果、12,590百万円の資金増加（前年同四半期は5,778百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得8,520百万円及び無形固定資産の取得618百万円等による減少と、投資有価証券の売却及び償還4,726百万円による増加の結果、3,509百万円の支出（前年同四半期は4,131百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額3,109百万円等による減少の結果、3,733百万円の支出（前年同四半期は2,546百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から5,741百万円増加（前年同四半期は222百万円の減少）し、42,741百万円となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年8月4日に公表しました2024年3月期の連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月2日）公表の「業績予想の修正並びに剰余金の配当及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,534	43,541
受取手形、売掛金及び契約資産	73,571	64,089
有価証券	491	-
商品及び製品	9,974	10,270
仕掛品	5,298	5,562
原材料及び貯蔵品	5,892	6,216
その他	3,838	4,431
貸倒引当金	△157	△177
流動資産合計	137,443	133,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,713	14,688
土地	27,823	30,380
その他（純額）	23,812	27,034
有形固定資産合計	66,349	72,104
無形固定資産		
のれん	2,161	2,038
その他	3,052	3,141
無形固定資産合計	5,213	5,180
投資その他の資産		
投資有価証券	36,975	41,413
その他	6,958	6,909
貸倒引当金	△26	△33
投資その他の資産合計	43,907	48,290
固定資産合計	115,470	125,574
資産合計	252,914	259,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,906	24,901
電子記録債務	11,603	10,386
短期借入金	6,314	6,189
1年内返済予定の長期借入金	1,194	1,036
1年内償還予定の社債	-	5,000
未払法人税等	4,909	4,940
賞与引当金	4,246	3,869
その他	9,293	9,039
流動負債合計	66,470	65,363
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	3,650	3,670
退職給付に係る負債	15,169	15,770
その他	4,921	6,184
固定負債合計	33,741	30,625
負債合計	100,211	95,988
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,770	16,770
利益剰余金	112,162	119,227
自己株式	△7,711	△7,716
株主資本合計	139,891	146,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,135	13,239
為替換算調整勘定	563	1,030
退職給付に係る調整累計額	165	153
その他の包括利益累計額合計	10,864	14,424
非支配株主持分	1,946	2,145
純資産合計	152,702	163,520
負債純資産合計	252,914	259,509

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	129,922	139,612
売上原価	89,629	93,527
売上総利益	40,292	46,084
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	4,805	4,785
給料及び手当	11,522	11,857
賞与引当金繰入額	2,223	2,527
賃借料	4,536	4,352
その他	11,793	12,469
販売費及び一般管理費合計	34,881	35,992
営業利益	5,411	10,092
営業外収益		
受取利息	15	20
受取配当金	483	523
持分法による投資利益	338	221
為替差益	441	63
その他	329	543
営業外収益合計	1,608	1,372
営業外費用		
支払利息	80	71
固定資産除売却損	172	36
その他	150	62
営業外費用合計	404	170
経常利益	6,615	11,293
特別利益		
投資有価証券売却益	2,162	3,694
特別利益合計	2,162	3,694
特別損失		
減損損失	1	19
投資有価証券売却損	22	19
投資有価証券評価損	5	-
特別損失合計	28	38
税金等調整前四半期純利益	8,749	14,949
法人税、住民税及び事業税	2,433	4,696
法人税等調整額	389	△20
法人税等合計	2,823	4,676
四半期純利益	5,926	10,273
非支配株主に帰属する四半期純利益	83	92
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,842	10,181



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,926	10,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△945	3,014
為替換算調整勘定	814	512
退職給付に係る調整額	57	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	114	170
その他の包括利益合計	40	3,685
四半期包括利益	5,967	13,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,702	13,740
非支配株主に係る四半期包括利益	264	218

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,749	14,949
減価償却費	3,091	3,100
減損損失	1	19
固定資産除売却損益 (△は益)	170	33
持分法による投資損益 (△は益)	△338	△221
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	25	27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△954	△376
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	689	584
受取利息及び受取配当金	△499	△543
支払利息	80	71
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,139	△3,674
投資有価証券評価損益 (△は益)	5	-
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	11,070	9,481
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,822	△884
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,294	△5,045
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△160	575
その他	△2,419	△1,464
小計	10,255	16,631
利息及び配当金の受取額	538	549
利息の支払額	△74	△68
法人税等の支払額	△4,941	△4,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,778	12,590
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△949	△638
定期預金の払戻による収入	771	1,447
有形固定資産の取得による支出	△6,375	△8,520
無形固定資産の取得による支出	△407	△618
投資有価証券の取得による支出	△1,054	△768
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,741	4,726
その他	140	863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,131	△3,509
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	258	△166
長期借入れによる収入	-	20
長期借入金の返済による支出	△498	△158
社債の発行による収入	5,000	-
社債の償還による支出	△5,000	-
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△1,958	△3,109
非支配株主からの払込みによる収入	5	-
その他	△353	△317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,546	△3,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	677	393
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△222	5,741
現金及び現金同等物の期首残高	39,186	36,999
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	61	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,025	42,741

